

都市再生整備計画 事後評価シート  
入善市街地地区  
(都市構造再編集集中支援事業)

令和6年12月

富山県入善町

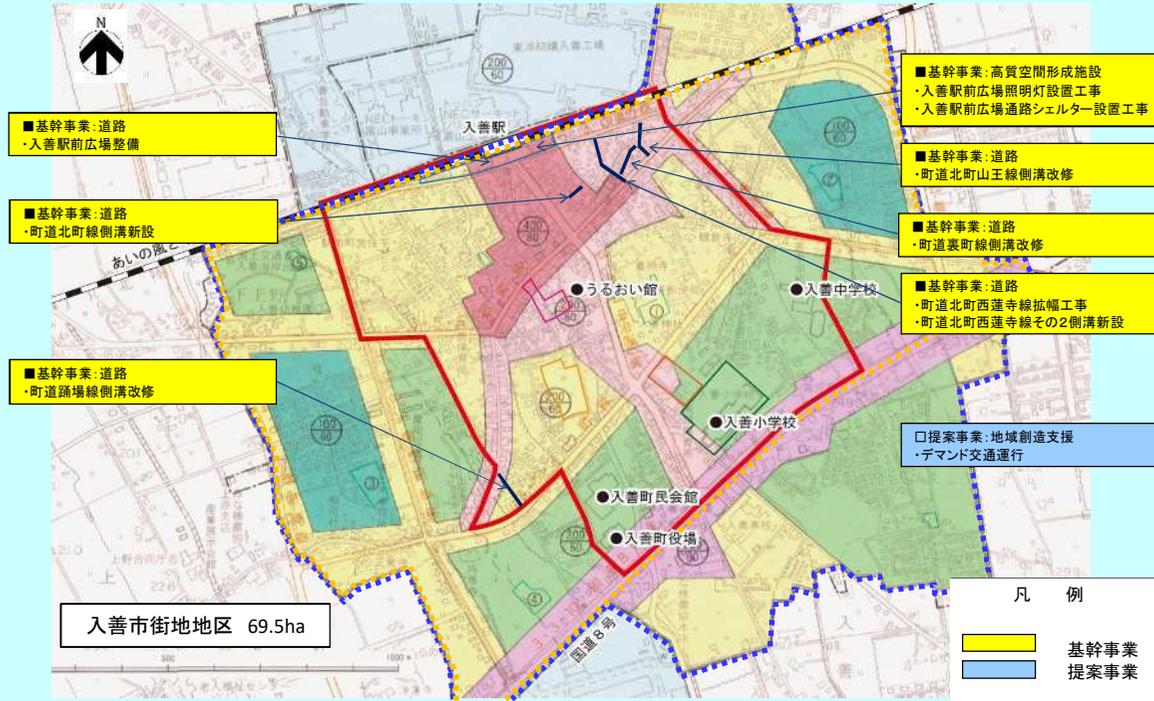
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	入善町		地区名	入善市街地地区			面積	69.5ha		
交付期間	令和1年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	286.1百万円	国費率	0.468				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(入善駅前広場整備事業、入善駅国道線、銀座北町線、北町線、北町山王線、北町西連寺線、裏町線)、地域生活基盤施設(パーク&ライド駐車場整備、自転車駐車場整備、ポケットパーク整備)										
		提案事業	地域創造支援事業(まちなか集客商業施設整備、デマンド交通運行事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(入善駅国道線、銀座北町線)、地域生活基盤施設(パーク&ライド駐車場整備、自転車駐車場整備、ポケットパーク整備)			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	地域創造支援事業(まちなか集客商業施設整備)			合意形成等に時間を要し、計画期間内の事業着手が困難となったため事業を削除。			目標を定量化する指標Ⅰ、Ⅱに関連するが、指標及び数値目標は据え置く				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(踊場線、北町西連寺線その2)、高質空間形成施設(入善駅前広場照明灯設置工事、入善駅前広場通路シェルター設置工事)			当該路線を追加することで、本計画の課題解決につながると判断したため。			目標を定量化する指標Ⅲに関連するが、指標及び数値目標は据え置く				
提案事業		なし			道路事業から高質空間形成施設に該当するものを別事業としたため。								
交付期間の変更	当初	令和1年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
	変更	-											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	うるおい館の利用人数	人/年度	114,536	H29	114,536	R5	93,732	△	あり	●	新型コロナウイルス感染症の流行による行動制限等の影響を受け、利用者は約半数にまで減少していたが、現在回復傾向にある。休止していたイベントも再開されており、利用者数の増加が見込まれ目標達成の可能性は高い。	-
	指標2	中心市街地の人口	人	2,975	H29	2,975	R5	2,629	×	あり	●	町全体で人口が減少しているため、中心市街地の人口も増加には至らなかった。しかし、町では最重要課題「ストップ人口減少」を掲げ、様々な施策に取り組んでいる。中心市街地の賑わいにつながるようなイベントの開催、空き家バンク制度創設、新規創業や事業承継への支援などを行っており、今後もこれらの施策を継続していく。	-
指標3	新規創業等件数	件	0	H29	10	R5	25	○	あり	●	新規創業や事業承継に係る町の支援と商工会の伴走支援の相乗効果により、新規創業・事業承継につながった。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	なし											
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>入善駅の利便性が向上したこととイベントにおいて鉄道を利用することが付加価値となる仕組みづくりなどにより、来場者に公共交通を利用するという波及効果が現れた。</li> <li>新規創業した若年世代の経営者がSNSを活用したことで来客数の増加など効果が得られたため、他の経営者にも新たな取り組みにチャレンジするという意識が高まった。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング	入善町総合計画実施計画ローリングによるモニタリング									実施状況	今後の対応方針等	
	官民連携による取組	まちづくりに関する懇談会の開催									都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	● ● ●	今後も入善町総合計画実施計画ローリングによるモニタリングを行う。 今後も継続的にまちづくりに関する懇談会を開催し、ニーズを把握しながら住み良いまちづくりの促進を図る。
	持続的なまちづくり体制の構築	-									都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

## 様式2-2 地区の概要

### 入善市街地地区(富山県入善町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 次代に繋げる持続可能な定住都市				
目標① 交通結節点である入善駅の利用増進を図り、まちなかの賑わいを創出する。	うるおい館の利用人数 単位:人/年度	114,536 H29	114,536 R5	93,732 R6
目標② 中心市街地の既存ストックの有効活用によるまちなか居住の促進を図る。	中心市街地の人口 単位:人	2,975 H29	2,975 R5	2,629 R6
目標③ 賑わいと利便性の高いまちなか商業環境の創造を図る。	新規創業等件数 単位:件	0 H29	10 R5	25 R6



**まちの課題の変化**

・鉄道利用者の送迎で混雑していた入善駅前広場について、整備により混雑が緩和され利便性が格段に向上した。また、歩行者用アーケードや適切な照明の設置により、快適で安全な施設となった。さらに、入善駅は公共交通の結節点でもあるため、デマンド交通や町営バスの乗降がスムーズに行えるようになった。しかし、さらなる利便性の向上を求めて、駅のエレベーター設置についての要望があり、新たな課題として把握することとなった。

・中心市街地の居住人口について目標は達成できなかったが、狭隘道路の整備などを行うことで安全な環境整備が図られた。

・狭隘道路の整備などに取り組み、中心市街地の周辺環境を向上させたことや空き家バンク等の活用により、魅力ある店舗の新規創業につながった。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

・町の最重要課題「ストップ人口減少」に向けた3つの柱を中心に取り組んでいる様々な施策を今後も継続していく。

・社会減の大きな要因となっている若者世代のニーズを把握し、今後のまちづくりに活かすような仕組みづくりを検討する。

・中心市街地内の未利用地や空き家・空き店舗活用方針を定め事業化を検討する。

・入善駅のエレベーター設置に向けた財源の確保と必要な事業計画の作成を検討する。